



プレスリリース

鯨虎じょう・安田萌音

2019年1月12日（土）～1月26日（土）

閉廊日：日・月

開廊時間 10:00am ～ 6:00pm

レセプション：1月12日（土）4:00pm～5:30pm

この度、現代美術 艸居では「鯨虎じょう・安田萌音展」を開催致します。

土や釉薬などの素材に真摯に向かい合い、セラミックの新しい表現方法を探求する鯨虎じょう。ひび割れという自然現象を利用した重厚な絵画作品を一貫して制作する安田萌音。両作家とも、弊廊での初めての展覧会となります。

鯨虎の制作はいつも実験から始まります。ガラスや金属、石の粉、公園に落ちている葉っぱや木の実、海の水や貝殻など様々なものを土に混ぜ、熱を加えると、それぞれに多様な表情や景色が現れます。その表情は、その瞬間の気温、湿度、人と土のコンディションでなければ成り立たないものです。毎日の中に変化と不変、そして普遍的なものがあり、今日と昨日の違い、去年と今年の違い、変わらないことを察しながら、息をして、手で触れて、感じて、反応する。鯨虎は、制作は素材とのコミュニケーションの探求であると言います。

安田は、絵画という平面上で作家の手が介在しない自然現象を起こさせ、描くというよりも再構築するという方法でそこに独自のダイナミックな絵画世界を生み出します。ランダムに配置された麻布、飛び散った土がひび割れしていく様子。それらを再構築することによって、作家の意図を超えた新しい世界が創造されていく。人が全てをコントロールするのではなく、意識の外で出来上がる予想外の形、それがとても美しいと安田は言います。

本展は、鯨虎、安田という同世代の作家二人が生み出す、独自性あふれる作品をご覧いただける貴重な機会となります。是非ご高覧頂けますようご案内申し上げます。



鯨虎じょう (いさなこ・じょう)

1994年生まれ。

2018年 多摩美術大学大学院 美術研究科 修士課程工芸専攻 陶研究領域 修了。
第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ入選、第53回神奈川県美術展工芸部門入選、
第6回ヴァニラ画廊大賞受賞等。

現在、神奈川県相模原市にて制作活動。



安田萌音 (やすだ・もえと)

1992年生まれ。

2017年 多摩美術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 日本画研究領域 修了。
トリエンナーレ豊橋 2014「星野真吾賞展」入選

鯨虎じょう・安田萌音展は1月12日(土)から1月26日(土)まで。

現代美術 艸居 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2 にて展示。

開廊：火～土 10:00AM～6:00PM

お問い合わせは、藤田篤実 atsumi.fujita@gallery-sokyo.jp 又は 075 746 4456 までお願いいたします。